

令和5年度 三重県議会事務局 年次計画 期末評価シート

三重県議会では、令和5年4月の改選後速やかに新たな体制を整えるとともに、任期4年間を見据えた議会活動計画（第3期）を策定し、これに基づき「開かれた議会運営の実現」や「住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進」等の各種活動を開始しました。

令和5年度の議会活動の成果は、「令和5年度 議会活動計画実施状況」に記載されたとおりであり、「何年振り」や「初めて」という取組も多くありました。また、県民の皆さんに物価高騰等に対する支援を1日でも早くお届けするための審議の前倒しや緊急会議の開催等もありました。

議会事務局では、こういった活動に対し、①本会議をはじめとする各種会議の運営支援や検討資料等の作成支援、②議会独自の政策立案・政策提言の作成支援、③事業の実施支援、④全国都道府県議会議長会をはじめとする他議会との交流・連携の支援などを行いました。その主な取組実績は次のとおりです。

業務名	取組内容	目標	期末	備考
1 開かれた議会運営の実現	<p>県議会の活動内容に県民理解の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議の公開、中継等の実施</li> <li>・ 議長定例記者会見の運営支援</li> <li>・ 広聴広報活動の支援</li> <li>・ 県民との意見交換の場の運営支援</li> </ul>	<p>100%</p> <p>毎月1回</p> <p>随時</p> <p>随時</p>	<p>100%</p> <p>毎月1回</p> <p>随時</p> <p>随時</p>	<p>○広聴広報会議においては、今後の広聴広報の取組について1年を通じて、熱心な議論が行われましたが、その際、他議会の取組内容の収集・とりまとめやキッズモニターシステムを活用したアンケートの実施等の提案を行うなど、検討が一層充実するよう支援しました。</p> <p>○「みえ県議会だより」等の刊行物の発行や「みえ現場de県議会」等の事業の実施に関して、委員の皆さんが若者から直接伺った意見等を速やかに取り入れるなど、改善を図られましたが、その際には、例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 刊行物に関しては、見やすさや分かりやすさの観点から記事の内容やレイアウト、デザイン等に関する提案</li> <li>・ 「みえ現場de県議会」では、議論の一層の充実に向け、公募参加者とは別に、テーマに沿った地域貢献活動を行っている学生(皇學館大学「若者の投票率UP!プロジェクト」)の参加につながる情報を提供するなどしました。</li> </ul> <p>○議場内のスクリーンや音響設備の改修等のより本会議の傍聴に適した環境づくりに資する取組に係る支援や、大規模地震対応訓練及び初めてとなる不審物対応訓練といった傍聴者の安全・安心の確保にも資する取組に係る支援を行いました。</p>
2 住民本位の政策決定と政策監視	<p>議決機関としての政策決定と県民代表としての政策の監視・評価の着実なサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本会議、委員会等の運営支援</li> <li>・ 議会マネジメント活動の支援</li> </ul>	<p>随時</p> <p>随時</p>	<p>随時</p> <p>随時</p>	<p>○委員長会議の運営等の支援に加え、各行政部門別常任委員会や予算決算常任委員会、食料自給総合対策調査特別委員会の年間活動計画の策定支援や振り返りの支援等を行うとともに、審議の一層の活性化に資するよう県内外の調査先や参考人に関する情報の収集・提案等を行いました。</p> <p>また、委員長報告や「令和5年版県政レポート(案)」を踏まえた知事への申入れ等について、執行部との調整も含め、各種支援を行いました。</p> <p>○補正予算に係る審議の前倒しも含め、委員会・分科会の運営支援(初めてとなるオンライン委員会やオンライン参考人招致を含む)や検討資料等の作成支援に加え、委員会条例等の改正に係る支援を行いました。</p> <p>また、オンライン委員会の実施に先立って、オンライン模擬委員会が開催されましたが、その企画・運営支援を行うとともに、意思確認の簡素化など模擬委員会の中で明らかになった課題への対応案の策定支援等を行いました。</p> <p>○執行部からの提出資料に誤りが発生する中、令和6年度当初予算に係る議案の誤りを確認し、結果として議案訂正という事態に至りましたが、議会として適切な形で審議いただけるよう、これらへの事務面での対応を行いました。</p>

業務名	取組内容	目標	期末	備考
3 独自の政策立案、 政策提言の強化	独自の条例案等の政策立案への取組のサポート ・議員提出条例の検討、調査、作成の支援 ・政策討論会議等の運営支援 ・議員勉強会の支援 ・議会改革の支援	随時 随時 年2回 随時	随時 随時 年2回 随時	○特別委員会や議会基本条例に基づく検討会等の設置を議論された各派世話人会・代表者会議の運営支援や、特別委員会等の名称・所管事項の整理等に係る支援を行うとともに、設置後の特別委員会等の運営支援や検討資料の作成支援、提言書や意見書の作成支援などを行いました。 また、子どもに関する政策討論会議による12月の知事への申入れ及び回答の場の持ち方に関する執行部との諸調整を行ったほか、年度末における特別委員会等の知事への提言や国への意見書提出に係る支援を行いました。  ○令和5年度は、8年ぶりに設置された政策討論会議を含め、特別委員会と検討会等が同期間に3つ設置され、事務局のサポートに関しても、いずれも開催回数・内容とも従来以上の水準での支援が求められるものであったことから、第2期評価等も踏まえ、自主調査レポートの作成を控え、従来からの議員からの資料の提供や各種調査のオーダーへの対応と特別委員会等のサポートに注力しました。  ○議員勉強会については、本県を取り巻く状況を踏まえ、議会での政策議論の充実・深化につながると考えられるテーマ及び講師の候補を提案するとともに、より効果的なものとなるよう、開催時期や内容に係る講師との調整を含め、勉強会の運営支援を行いました。
4 分権時代を切り開く交流・連携の推進	他都道府県議会との連携 ・他都道府県議会との連携の支援 ・全国都道府県議会議長会、ブロック別議会議長会等を通じた交流連携 ・県内市町議会との連携の支援 ・他県議会視察調査等の受入等	随時 随時 随時 随時	随時 随時 随時 随時	○議長が7年振りに全国都道府県議会議長会の副会長に就任されたことを受け、事務局としても同会の参与会に参画して議案等に関する事前の議論や諸調整を行うとともに、副会長として国等との意見交換、会長への進言、関係者との調整等に臨まれる議長の活動をサポートしました。  ○全国都道府県議会議長会「多様な人材が輝く議会のための懇談会」に参画された副議長の委員としての活動、具体的には、懇談会提出資料の作成や、これに必要な関係者インタビュー、提言書案に係る意見提出等の各種活動をサポートしました。  ○このほか、近隣府県の議長との会議等での協議事項や会議後の国への要望に関する諸調整を行うとともに、令和6年度には本県での開催となる「東海北陸7県議会議長会」及び「紀伊半島三県議会交流会議」の開催準備を進めました。
5 事務局による議会サポート体制の充実	政策立案等を充実させるためのサポート体制の充実 ・インターンシップ実習 ・各種調査結果等の議員への提供 ・衆議院法制局への派遣 ・議会図書室の機能強化 ・議会のデジタル化（オンライン活用、ペーパーレス化など）の支援	1名 毎月 2年1名 随時 随時	1名 毎月 2年1名 随時 随時	○分権の時代に、二元代表制のもと、議会がその役割を果たしていく上で、住民の多様な意見を反映させた独自の政策立案を行い、条例案として提出するという政策立案機能を高めることは極めて重要であり、議会事務局としてもこの機能、特に、議員提出条例の制定をしっかりとサポートできる体制を維持・充実する必要があります。 このため、これまで衆議院法制局に職員を派遣して必要な能力を習得させていますが、派遣者の交代時期である令和6年度についても派遣を継続できるように派遣先等と調整を行いました。また、この際には、本県の政策課題を念頭に、配属先についての調整を行いました。  ○議会がインターンシップ実習生を受け入れるにあたって募集事務を行うとともに、受入決定後は、実習生に対して、議会活動のレクチャーや議員面談、議会への提案作成に係るサポートを行いました。  ○オンライン模擬委員会や委員会条例等の改正、オンライン委員会やオンラインによる参考人招致の支援を行うとともに、オンラインによる請願への対応の検討に資するよう、関係省令等の策定状況に関する情報を収集するなど議会のデジタル化の支援を行いました。